

令和6年度 学校経営の成果と課題 ～学校評価アンケートの分析から～

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。学校経営の3つの重点に沿った15項目で、生徒、保護者の皆様、本校職員によるアンケートを数値化してまとめました。以下にその結果をお伝えします。また、第3回学校運営協議会でもアンケート結果の数値を公表し、ご意見をいただきました。来年度の教育活動に生かせるよう、学校経営の改善を図ってまいります。

今後とも、ご理解とご協力をお願いいたします。

◇評価方法について

学校経営の3つの重点について、それぞれ5項目を設定し、A～Dの4段階評価としました。

A：そう思う B：どちらかといえばそう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない

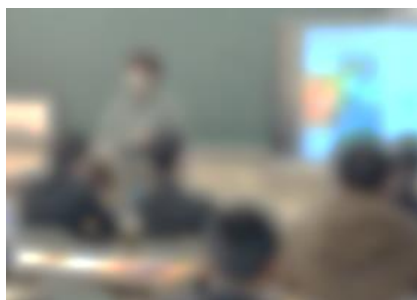
重点Ⅰ 「助け合い高め合う生徒」について

敬愛の心			令和6年度結果						
			A	B	C	D	A+B		
	1	生徒は、学校・地域でのボランティア活動などを通して、地域の一員としての自覚を高めることができたと思いますか。	生徒	51.7	38.1	8.5	1.7	89.8	
			教員	50.0	50.0	0.0	0.0	100.0	
			保護者	39.1	50.0	10.9	0.0	89.1	
	2	生徒は、学校や家庭、地域でのあいさつを進んで行っていると思いますか。		A	B	C	D		
			生徒	70.6	27.7	1.7	0.0	98.3	
			教員	33.3	66.7	0.0	0.0	100.0	
		保護者	45.7	43.5	10.9	0.0	89.1		
		3	生徒は、教科の学習や総合的な学習の時間等を通して、地域の特徴を理解したり、地域に対する愛着を持ったりすることができたと思いますか。		A	B	C	D	
				生徒	56.8	33.9	8.5	0.8	90.7
	教員			58.3	41.7	0.0	0.0	100.0	
		保護者	39.1	50.0	10.9	0.0	89.1		
		4	生徒は、地域の方の協力を得て（「資源回収」や「地域探訪」、「福祉交流学習」など）、自分のものの見方や考え方を広げたり深めたりすることができたと思いますか。		A	B	C	D	
				生徒	58.0	35.3	5.0	1.7	93.3
	教員			83.3	16.7	0.0	0.0	100.0	
		保護者	56.5	41.3	2.2	0.0	97.8		
		5	生徒は、高中生の一員として学校をより良くするために行動できたと思いますか。 学校は、保護者や地域の方々の声に耳を傾け、学校をより良くしようとしていると思いますか。		A	B	C	D	
				生徒	52.9	41.2	5.0	0.8	94.1
	教員			75.0	25.0	0.0	0.0	100.0	
	保護者	37.0	56.5	6.5	0.0	93.5			

すべての項目でA評価の割合が昨年度よりも高い結果でした。

今年度は「進（すすもう）」を生徒会スローガンに掲げ、一人一人が積極的に考えて行動していくことでいろいろな活動を活発にし、誇りと笑顔のあふれる学校を目指して、生徒会活動に取り組んできました。ボランティア活動では「地域貢献活動」を新たに実施し、高瀬コミセンでは山形紅花まつり前に、楯山コミセンでは地区文化祭前に、会場準備の手伝い等を行いました。これまで行ってきたアルミ缶回収や収益金リハビリセンターへの車椅子の贈呈、各種募金活動にも継続して取り組み、「地域のためにできること」を自分たちの目線で考えて実行しました。あいさつを高める取り組みでは「タイアップあいさつ運動」を行い、行事とタイアップして学校全体のあいさつの雰囲気を盛り上げました。地域でも、元気にあいさつしているとの声が届いています。





地域理解については、総合的な学習の時間に地域の方を講師にお招きし、地域について深く知る授業や、働くことの意義について考える授業などで講話をいただきました。また、「地域探訪」でも各所で丁寧な説明をいただいたことに感謝申し上げます。「地域を知り、地域に学ぶ」体験活動から多くを学ぶことができた充実感が、生徒の「地域に感謝し、地域に貢献する」気持ちの醸成につながったと考えています。

重点Ⅱ 「進んで学ぶ生徒」について

		令和6年度結果						
自主の心	6	生徒は、「授業が楽しい」と感じながら学習することができたと思いますか。 学校は、授業の中で生徒の興味関心を喚起させるような工夫をしていると思いますか。	A	B	C	D	A+B	
			生徒	46.2	39.5	12.6	1.7	85.7
			教員	41.7	58.3	0.0	0.0	100.0
			保護者	28.3	60.9	10.9	0.0	89.1
	7	生徒は、「わかった」「できた」と達成感を感じながら学習することができたと思いますか。 お子さんは、授業の中で達成感を得ながら学習していると思いますか。	A	B	C	D		
			生徒	50.8	37.3	8.5	3.4	88.1
			教員	16.7	75.0	8.3	0.0	91.7
			保護者	21.7	41.3	34.8	2.2	63.0
	8	生徒は、仲間と話し合ったり調べたり、まとめたりするなどの関わりを大切にしながら学習することができたと思いますか。 お子さんは、仲間と話し合ったり調べたり、まとめたりするなどの関わりを大切にしていると思いますか。	A	B	C	D		
			生徒	60.5	34.5	3.4	1.7	95.0
			教員	41.7	58.3	0.0	0.0	100.0
			保護者	37.0	45.7	17.4	0.0	82.6
9	生徒は、学校からの課題や自分で計画した家庭学習に自主的に取り組むことができたと思いますか。	A	B	C	D			
		生徒	45.4	31.1	16.0	7.6	76.5	
		教員	8.3	75.0	16.7	0.0	83.3	
		保護者	34.8	28.3	28.3	8.7	63.0	
10	生徒は、家庭で読書する時間を意識して設定していると思いますか。	A	B	C	D			
		生徒	26.1	20.2	26.1	27.7	46.2	
		教員	16.7	41.7	33.3	8.3	58.3	
		保護者	10.9	23.9	32.6	32.6	34.8	

A評価の生徒について、昨年度と比較すると次のような結果となりました。

項目6	41.4%→46.2% (4.8%↑)	項目7	46.8%→50.8% (4.0%↑)
項目8	55.0%→60.5% (5.5%↑)	項目9	36.9%→45.4% (8.5%↑)

昨年度との比較により、「授業が楽しい」「わかった」「できた」と実感している生徒が増加していることが明確になりました。また、生徒に実施した学習アンケートでも、「課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいますか」という設問に47%の生徒が、「仲間と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができていますか」という設問に55%の生徒が「A：当てはまる」と回答しています。「楽しい」「わかった」という感受は、仲間との「関わり」によって高まっているということも読み取れると思われます。



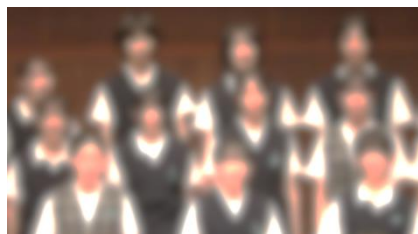
読書習慣については、学校評価でも最も評価が低い項目です。朝読書、全校コラム学習、話題本の展示や本紹介、読み聞かせなど、生徒の読書意欲を喚起する取り組みに努めてきましたが、家庭で読書をする習慣をつくるのはなかなか難しいことと感じています。ゲームやSNSなどのメディアとは違った読書の良さを、どう伝え体験させたらよいか、今後も方策を考えていきます。

重点Ⅲ 「鍛え合う生徒」について

			令和6年度結果					
不屈の心	11	生徒は、自分自身の生活を振り返りながら、自分の良さを理解したり、自ら進んで自分の進路を考えたりすることができたと思いますか。		A	B	C	D	A+B
			生徒	37.8	47.9	11.8	2.5	85.7
			教員	25.0	58.3	16.7	0.0	83.3
			保護者	23.9	45.7	21.7	8.7	69.6
	12	生徒は、学級や部活動など集団での活動において、切磋琢磨して互いに力を伸ばしたり、仲間の良さを見つけ、共に成長することができたと思いますか。		A	B	C	D	
			生徒	57.1	34.5	7.6	0.8	91.6
			教員	16.7	75.0	8.3	0.0	91.7
			保護者	34.8	54.3	8.7	2.2	89.1
	13	生徒は、生徒会活動等自分自身の力で学校生活の向上をめざすことを通して、当たり前前のを当たり前前にできるようになったと思いますか。		A	B	C	D	
			生徒	51.3	38.7	8.4	1.7	89.9
			教員	8.3	91.7	0.0	0.0	100.0
			保護者	32.6	52.2	10.9	4.3	84.8
	14	生徒は、安心・安全な生活を送るよう、十分に注意して学校生活を送ることができたと思いますか。		A	B	C	D	
			生徒	71.4	25.2	3.4	0.0	96.6
			教員	33.3	66.7	0.0	0.0	100.0
			保護者	41.3	52.2	6.5	0.0	93.5
	15	生徒は、心身の健やかな成長を図るために、早寝早起きやメディアコントロールに取り組むことができたと思いますか。		A	B	C	D	
			生徒	39.5	42.0	14.3	4.2	81.5
教員			8.3	75.0	16.7	0.0	83.3	
保護者			15.2	30.4	34.8	19.6	45.7	

本校では「いのち」を教育の中心に据えて、学校教育活動を進めてきました。毎月1日を「いのち輝く安全の日」と定め、安心・安全を意識した学校づくりに努めてまいりましたので、項目14について生徒・保護者・職員ともに評価が高かったことは、学校としても大変うれしいことです。

「自分は大切な存在である」ことを学び、自己肯定感を高めるために、各学年で外部講師による「いのちの学習」を行いました。また、職業調べや適性調べ、進路学習にも積極的に取り組み、「生き方」について学びを深めています。今後も力を入れて取り組んでいきますので、家庭でも親子で将来の夢や進路について語り合う時間を作っていただければと思います。



学校行事では、運動会や合唱コンクール、学年行事などで、仲間と切磋琢磨して互いに力を伸ばし、互いの良さを認め合って成長する姿がたくさん見られました。その姿をご覧いただくことができたことが、学校評価の結果にもつながっているのではないかと考えております。集団の中できちんと活動し、感動や達成感を味わう体験をこれからも大切にしていきます。

メディアコントロールは大きな課題と感じています。また、評価結果を見ると、生徒と保護者との間で評価に大きな差が見られました。生徒に実施した生活リズムアンケートでは、深夜までゲームやSNSに多くの時間を費やし体調をくずす生徒がいることが見受けられます。また、SNSの使用から様々なトラブルに発展していくケースも多く見られます。高楯中では、生徒会で「高楯中学校メディア使用のルール」を決めて全校生徒で取り組みを進めています。メディア依存やSNSトラブル等に巻き込まれないよう、ご家庭で使用ルールについて話し合い、保護者の責任のもとで使用するようご指導とご協力をお願いいたします。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。学校にお寄せいただいた様々な声をこれからも大切にしながら、よりよい学校運営のために、日々改善を図って参ります。今後どうぞよろしくお願いいたします。